

各 位

会 社 名 STEILAR C.K.M 株式会社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 橋 本 勝 司  
(コード番号 2673)

問 合 せ 先 取 締 役 (総務担当) 野口 正己  
電 話 03-5326-8880

### 平成 19 年 3 月 期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 17 日付の当社「平成 19 年 3 月 期 中間決算短信 (連結)」及び「平成 19 年 3 月 期 個別中間財務諸表の概要」において発表いたしました、平成 19 年 3 月 期 (平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日) の連結業績予想と個別業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### (1) 平成 19 年 3 月 期 連結・個別業績予想の修正

通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	7, 9 0 8	7 6	△ 5 1
今回修正 (B)	7, 3 7 9	△ 2 1 2	△ 3 3 8
増減額 (B-A)	△ 5 2 9	△ 2 8 8	△ 2 8 7
増 減 率	△ 6. 7 %	—	—

(注) 連結対象会社は、株式会社ホット・コミュニケーション (62.5%子会社)、株式会社クリスタルアース (100%子会社)、株式会社アंकプロモーション (100%子会社)、株式会社 S・R プロモーション (100%子会社)、株式会社夢隊ファクトリー (100%子会社)、ライフステージ株式会社 (100%子会社)、株式会社ソシオ (100%子会社)、及び匿名組合 1 組合であります。

個別業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	6, 7 7 4	△ 3 2	△ 1 3 2
今回修正 (B)	6, 3 6 7	△ 1 7 2	△ 3 6 6
増減額 (B-A)	△ 4 0 7	△ 1 4 0	△ 2 3 4
増 減 率	△ 6. 0 %	—	—

#### (2) 平成 19 年 3 月 期 期末配当予想の修正

	期 末 配 当
前回予想 (A)	6 円 50 銭
今回修正 (B)	0 円 0 銭
増減額 (B-A)	△ 6 円 50 銭
増 減 率	△ 100%

## 修正理由

個別業績の売上高及び経常利益につきましては、第3四半期において業績回復のための努力が奏功し徐々に利益体質へと改善が進んだものの、第4四半期において売上高の増加を目論んで販売促進費を積極的に投入したにもかかわらず、お客様の買物嗜好に合わせた商品開発と各カタログの個性化が不十分であったため売上の上昇が見込めず、逆に損失を増大させる結果となったことが要因であります。

連結業績の売上高及び経常利益につきましては、前述のとおり個別業績における業績予想未達と不動産事業の売上の一部が翌期に繰り越されたことが要因であります。

当期純利益の減少につきましては、特別損失として貸倒引当金43百万円、たな卸資産評価損9百万円を第4四半期において計上しております。また、当社の繰延税金資産74百万円を取り崩すことといたしました。これは、平成20年3月期に業績回復への取り組みを行っているものの、過去に、売上、利益目標を達成しておらず、今決算の繰延税金資産の算定に当たり、将来の課税所得を慎重に見積もったためであります。なお、今回の繰延税金資産の取り崩しにより来期以降の当期利益の減少要因が排除されております。

期末配当につきましては、株主の皆様へ当初の予想に基づいた配当を行いたいと検討を重ねてまいりましたが、前述のように特別損失及び繰延税金資産の取り崩しを計上せざるを得ない結論となり、誠に心苦しい次第ではございますが、今後の業績回復のため内部留保させていただくことを決定いたしました。

なお、平成19年3月期の業績に対する経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬の減俸処分を実施いたします。

- (1) 取締役報酬の減額の内容  
代 表 取 締 役：報酬月額の20%を減額  
その他の常勤取締役4名：報酬月額5%を減額
- (2) 対象期間  
平成19年4月から平成19年9月までの間

以上